

多くの人々が関わり、みんなが仲間になった



事務局次長・広報・展示
守屋博さん
(豊里町新町)

電話が突然鳴った。「事務局として手伝ってもらえないか」と。自分が役に立てるなら引き受けました。

広報・展示が担当で、最初の仕事はポスター作りでした。使う写真は、旧北上川と迫川の合流点。空からの写真が欲しいとなり、機材を持っている人に依頼。題字は、地元で習字教室を開いている人にお願しました。

展示室には、昔の豊里の写真や龍神様などを展示しました。準備をしているうちに、町内の歴史が分かる新たな資料が、数多く見つかりました。小学生に、ボランティアで郷土史を教えているので、自分にとってもよい勉強になりました。

無理な依頼も「地元のためなら」とみんな快く協力いただきました。この活動で多くの人たちとつながれたのが、今回得た一番の財産ですね。



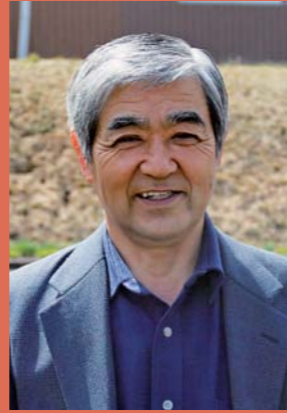
菜津子役
土井七海さん
(豊里中1年)

学校で夢フェスタの募集チラシを見て、友達3人と応募しました。

私が演じた菜津子は、男の子に突っ込むなど、元気のいい女の子。自分にぴったりの役でした。練習は昨年12月から始まり、初めは発声練習や早口言葉の繰り返しでした。最初はなかなかうまくいきませんでした。友達とスクールバスや学校でも練習して、うまく言えるようになりました。

練習の時は子役の人たちと話をしていました。だんだん大人とも話をするように。全員が仲間なんだなと思いました。

本番は少し失敗もしましたが、うまく演じることができました。お客さんに「おもしろかった、元気をもらった」と言われてうれしかったです。劇を通じて、豊里の歴史を勉強できたのも大きな収穫。また出たいと思います。



刑事役・制作部長
阿部敏光さん
(豊里町竹花)

昔、演劇に携わったことがあったことから、知人が脚本の素稿を持ってきて「意見を聞かせてください」と言われてね。あれこれしているうちに、気付いたら制作部長に就任していました(笑)。

昨年11月ごろ「キャストが足りない」という話になり、刑事役を急遽引き受けることになりました。それからは、裏方とキャストの二足のわらじ。結構忙しかったですが、制作の仕事はチーフの人たちがフォローしてくれたので助かりました。

今回の夢フェスタには、町内から多くの人たちがボランティアとして参加していました。

夢フェスタの魅力は、地域の人たちが多く関わり、手づくりで進めることにあると思います。改めて、貴重な機会だったと感じています。



ここでしか創れないものに情熱を注ぎ続ける

ゼロから1を生み出す独自の文化

夢フェスタ水の里は、市内の文化、歴史、人物などに光を当て、市民が手づくりする舞台公演を通じて、「登米市の隠れた良さ」を広く紹介する、地域おこし事業。それだけではなく、市民が文化活動に参加する機会を提供し、本市ならではの芸術文化を発信することが目的だ。

旧登米郡8町が毎年持ち回りで、創作劇を上演する舞台型芸術として始まった。2005年、登米市の誕生に伴い、登米郡民劇場が登米市民劇場に生まれ変わった。

市内の文化・歴史・人物などが題材なので、劇の脚本はオリジナル。しかし、そこにプロの手は入らない。脚本だけではなく、役者、舞台スタッフ、運営や広報など、公演に関わる全てを、市民ボランティアが担ってきた。各町持ち回りであることから、財団職員を除いてスタッフが入れ替わる。

このことについて、登米文化振興財団の佐藤寛一理事長は「夢フェスタは地域おこし事業であり、登米市独自の芸術文化を発信することが目的。全面的にプロの手を借りたり、何かを

真似たりすれば、もっと良いものになるかも知れない。しかし、自分たちで創造するからこそ価値がある。大切なのは1のもの、10にするのではなく、ゼロから1のものを生み出すこと」と語る。

昔から文化の流れは都市部から地方というのが一般的だった。しかし、決してそれが正解ではない。近年、スローライフを筆頭に、地方での生活や習慣などが都市部から注目されている。どこにもあるものではなく、そこでしか得られないものに、本物の価値を見出しているのだ。

夢フェスタの取り組みは本物だ。登米市にしかない材料を、登米市民が苦勞に苦勞を重ねて、オリジナルのものを創り上げている。このスタンスは、当初から一貫してぶれていない。本物を追求する姿勢が変わらないからこそ、観衆の心が動かされるのだ。

登米市が誇る地域文化の一つとして成長を続ける夢フェスタ。20年つながれてきた本物を創る遺伝子は、これからも変わらずに続く。

主役は「あなた」 夢フェスタのスタッフ募集

市民が創る「夢フェスタ水の里」は、出演者やスタッフを募集しています。

この事業はこれまで、市内各町に残る民話・実話・逸話などを掘り起こし、新しい視点を加えて発信してきました。

この事業の主役は「あなた」です。皆さんの手ですてきな舞台を創り上げてみませんか。

【募集内容】

- ①キャスト
- ②舞台(大道具、小道具、舞台転換、衣装、ヘアメイク、美術、音響・照明など)
- ③事務局・運営スタッフ(宣伝、渉外、チケット管理、当日受付など)
- ④広報(機関紙作成、ポスター、チラシ作成、パンフレット作成、記録など)

【参加条件】事業に賛同いただければ、どなたでも参加できます。経験は一切問いません。ただし、無償ボランティアを原則とします。なお、小中学生が参加する場合は、保護者も可能な限り参加もしくは協力をお願いします。

【申し込み】所定の申込用紙にご記入のうえ、登米祝祭劇場へお申し込みください。

【問い合わせ】登米祝祭劇場

☎0220(22)0111